

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2011年12月24日）

クリスマス・イブのこの日、数日前から全国的に大雪が心配されていましたが、青森はすでに積もった雪に、さらに雪が降り積もり、おそろしく寒い日でした。しかも、集合時間の連絡ミスや、荷物の積み込みでケガをなされた方もいて、波乱の幕開けでした。いろいろご迷惑をおかけしてごめんなさい（反省）。

参加者数は26人で、うちわけは市民3人、学生21人、教員2人でした。今日の主な目的は、クリスマスツリーの飾りつけと、弘前からのクリスマスプレゼントを贈ることでした。段ボール8個分くらいの山のようなプレゼントが準備されていました。このプレゼントは、弘前市民参画センター、社会福祉法人抱民舎、「ハンサムウーマン」などが主体となって集めてくださったり、今回の活動参加者が持ち寄ったりしたものです。多くの方の温かい気持ちがつまっていました。

8時半頃に出発して、12時前に野田村の役場前に到着しました。教育委員会のみなさんや園芸店の大沢さんが、子どもたちのイベントや役場の前のツリーの飾りつけをされていました。私たちもさっそく、先週の活動で作った白いお花「ホワイトローズ」を飾ったり、ドーム型の骨組みに子どもたちが書いたかわいい短冊をつけたり、木に赤いリボンを結んだりして、お手伝いしました。



ドーム型の骨組みに短冊を付ける



植え込みの枝に赤いリボンを結んでおめかし

また、サンタさん3人とトナカイ1匹も用意万端で、プレゼントを役場前に運んで準備しました。こちらの連絡ミスや到着が遅れたこともあり、子どもたちが来てくれるか心配でしたが、教育委員会や役場のみなさんのご協力により、少しずつおばあちゃんや両親に手を引かれた子どもたちや、大人の方も来てくださいました。小さい子どもは、黄色いジャンパーの大人が10人近くたむろして、その中にサンタがたくさんいるのに、ちょっと腰が引けて固まっていました。すこーし怖かったかもしれません。でも最後は、うれしそうにプレゼントを選んでくれました。寒空のなか、集まってくださったみなさんに感謝したいと思いました。



サンタクロースが子どもたちにプレゼント
大きな白い袋が楽しかった！



子どもたちの会に飛び入り参加して、プレゼントを
渡すことができました

また、ちょうど子どもたちが20人くらい集まっている部屋もあり、お食事にお邪魔して、急きょですが、プレゼントを配らせていただきました。子どもたちは最初、少々驚いた様子でしたが、プレゼントを選んでくれました。

14時ごろからは、プレゼントがたくさんあったので、2か所の仮設住宅の方に届けに行きました。そろそろ2度目、3度目と訪ねるお宅もあって、学生たちも少しずつ顔見知りができているようでした。こうしてプレゼントは野田村のみなさんにすべてお渡しできました。最後は役場前で、今回のホワイトローズのツリーの企画者である月島アートスクール主宰の野瀬佳枝さんたちと一緒に写真を撮ってお別れしました。

そして、今回は最後の最後にサプライズが。いつもお世話になっている米田やすさんたちに、日野口さんがプレゼントを届けに行ったことをきっかけに、みんなで豆腐田楽を食べに来るように誘っていただきました。お言葉に甘え、帰り道に大人数で押しかけ、アツアツの豆腐田楽を頬張りました。みんなそのおいしさに感動していました。私は米田さんたちのお気持ちに、ちょっと泣けてきました。



ホワイトローズのクリスマスツリーを企画された
野瀬佳枝さんのグループの方と一緒に



安来直売所でアツアツの田楽をいただきました、お
いしさとお気持ちに感動

帰りのバスでの感想を共有する時間には、「今回はプレゼントだけでなく、元気もあげたいと思ってきました」「ありがとう、って言われるだけで、こんなにうれしいんだって思いました」「今回子どものかわいさを再認識して、連れて帰りたくなりました」。

反省する意見も次々に出ました。クオリティーの高いサンタの衣裳や白い袋、手袋が欲しかった、「サンタクロース道」のトレーニングが必要だった、子どもとゲームなどで遊ぶ準備をしていればよかった、外から見ると何をやっているか分かりにくかったので看板があるとよかった、プレゼントに少し偏りがあった、歌が中途半端だった、もう少し企画を練った方がよかった、などなど。いつになく反省が多かったのは、子どもたちや野田村の人々にもっともっと喜んでもらいたい、というみんなの気持ちの表れだと思います。来年に生かしましょう。

今回は時間の都合があり、ツリーなどがライトアップされるところまで見ることができなかったのが、たいへん心残りではありました。しかし、今ごろ役場前はキラキラと異次元の空間になっていることでしょう。2011年の最後の活動は、朝から波乱でしたが、多くの方のご協力により、こうして終了しました。

(人文学部教員 山口恵子)